



第175号

編集・発行  
広島市船越地区  
社会福祉協議会  
広報部  
広島市安芸区船越  
五丁目17番12号  
☎823-1926

# 社協 ふなこし

## 年始のごあいさつ

# 謹賀新年



船越地区社会福祉協議会 会長 福永 稔

謹んで新春の祝詞を申し上げます。昨年コロナ禍の一年でしたが、このところ第五波がおさまり感染者が減少し、広島も0人という日が続いています。しかし、一方世界ではオミクロン株が新たに発生して世界に広がっています。日本においてもオミクロン株が見つかりました。第六波がこないように願いたいものです。心配ではありますが今まで通りコロナ対策をしっかりして感染が拡大しないようにしたいものです。三回目のワクチンを受けておきたいですね。

今、社協では各団体の活動が徐々に再開しています。子ども食堂もやっと開始しました。行事が中止になると人との交流がなくなりコミュニケーションができなくてストレスがたまることになりました。そこで、今年コロナ禍でも工夫して活動がより活発になるようにしたいと思っています。

さて、安芸区社会福祉協議会が広島市社会福祉協議会と合併する運びとなりました。今年四月一日から新体制で開始されます。合併しても船越地区社会福祉協議会の行事等活動そのものは今まで通り継続されます。スタッフも今のままです。ご安心ください。今年も社協一同力を合わせて活動に取り組んでいきます。ご協力宜しくお願い致します。

## 寅年の由来



二〇二二年の干支は「壬寅」です。「壬寅」は「陽気を孕み 春の胎動を助く」冬の寒さが厳しいほど春の芽吹きは生命力に溢れ、華々しく生まれることを表しているようです。

寅は陰陽五行説では「木の陽」に分類され強く大きく成長するといつたことを表しています。何事にも好奇心を持ってポジティブに進めば、希望に溢れる明るい年になるといわれています。





# 謹んで新春のお慶びを申し上げます



船越中学校  
校長 和高 秀文

明けましておめでとうございます。皆さん、はじめまして。升原前校長先生の後任として、昨年四月に本校の校長を拜命致しました和 high(わだか)と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

本校では、『誰かのために 仲間とともに For Someone With Friends』というフレーズをすべての学校教育活動を貫く理念として掲げ



船越小学校  
校長 落合 良平

初春のお慶びを申し上げます。

明治六年一月二十日、本校の起源・海田小学校が創設され、その後、校名変更、船越村へ移転、独立を経て、現在地へ移転しましたのが、昭和二十六年でした。昭和五十年三月、船越町と広島市が合併され、現在の広島市立船越小学校となりました。



船越地区青少年健全育成  
連絡協議会  
会長 柳川 昭信

明けましておめでとうございます。

青少年健全育成連絡協議会は、船越地区の社会福祉協議会の構成団体として、中学校、小学校、幼稚園等教育関係や各団体と連携をとりながら地域の青少年健全育成のため活動しています。しかし、コロナウイルス感染症拡大のため、ほぼ活動ができない状況ではありましたが、昨

ています。これは、生徒の皆さんに、誰かのために仲間とともに感じ、考え、行動する人になってほしいという願いを言葉にしたものです。授業や日常生活では「仲間とともに」学びあい、励ましあい、喜びや悲しみを分かち合う。そして、すぐそばにいる「誰かのために」、耳を傾け、そっと手をさしのべることができる。そんな人がたくさんいれば、素晴らしいクラス、学年、学校になる。そして、街になると考えています。

長い歴史と伝統をもち、創立百四十九周年の船越小学校があるのは、地域の皆様の学校への深い愛情と「船越の子は宝」と、児童を見守り育てていただいているからです。心より感謝申し上げます。

グローバル化の進展や社会環境の変化が急速に進む今日、予測困難な時代を迎えています。その中で、夢や志をもち、知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな児童の育成を目指し、学校経営をしてまいります。

令和五年一月二十日は、創立百五十周年記念です。皆様と一緒に祝いしたいと思います。

年は書面開催での中学生による意見発表、地域内の各種団体との意見交換会等、徐々に活動を再開しています。今年度は例年七月に行われる三世代ふれあいフェスティバルや青少年の意見を聞く会等地域の生徒・児童、家族の交流ができるイベントなど、さらに交流ができるようになれば良いと思います。

今後とも地域・教育関係・行政と連携し、「明るく元気で、安全できれいな船越」となるよう「あいさつ運動」「声かけ運動」「清掃活動(協賛)」を行い、活動を続けたいと思います。今年も引き続きよろしく願いいたします。

## ボランティアグループ スマイル



代表 東 路子

コロナに負けじと立ち上げた船越子ども食堂「いわたきっこ」は地域の方々の温かいご支援に支えられ十月二十三日に待望のオープンを果たしました。

子ども達の笑顔が見たい、「美味しかった〜」の声が届きたい：そんな思いを胸に十人のスタッフが、約一年の準備期間を経て夢を叶え、十二月二十五日には三回目も無事終了する事ができました。

ニコニコと太陽のような笑顔を見せて帰る子ども達の後ろ姿に、たくさんの元気を貰っています。

まだまだ未熟なチームですが、共に支え合う大切さを感じ、もっともっとと努力を重ね「どなたでもどうぞ」と多くの方々を受け入れられるように頑張りたいと考えています。

この船越の町のあちらこちらで笑顔のストーリーがたくさん生まれることを願っています。

これからも船越子ども食堂「いわたきっこ」を宜しくお願い致します。





# コロナ感染対策でのボランティアグループの活動



パーテーションと消毒液等



空気清浄機

広島市新型コロナウイルス感染症の影響に対する地域福祉活動緊急支援事業補助金で揃えました。



船越老人いこいの家



週二回「いきいき百歳体操」を実施してました。コロナ禍で休止・再開を繰り返し十月から二班に分け参加者は週一回の活動です。

**いきいきクラブ  
(百歳体操)**



安芸区総合福祉センター



月一回、コロナ禍により午前中のみ実施。看護師による健康観察・血圧測定から始まり軽い体操・紙芝居・ゲーム等で、いつも笑顔で健康に過ごせますよう頑張っています。

**つづみ会**



船越老人いこいの家



童謡唱歌・なつかしい歌謡曲など歌っています。コロナ禍で参加者を二グループに分けて、参加者は月一回の活動となっています。

**いわたぎ童謡の会**

愛の灯  
社協活動を支える  
善意に感謝します

船越地区社会福祉協議会へ、次の方々から、香典返し及び病氣見舞返し等の寄付がありました。お寄せいただきました善意は、地区内の住民福祉増進とコミュニケーションづくり推進を目的とする事業等に有効に活用させていただきます。

寄付金 (敬称略)

香典返しにかえて

- 金十万円也 四丁目(竹浦) 亡母 シマヨ 武田 一之
  - 金一封 一丁目(西) 亡母 榮子 檜山 賢治
  - 金五万円也 五丁目(花都) 亡母 和子 萬谷 周作
  - 金三十万円也 二丁目(西) 亡夫 浩 萬谷 貞暁
  - 金一封 二丁目(西) 亡父 正幸 石田 周司
- 一般寄付として
- 金十万円也 一丁目(西古谷) 亡母 幸子様のご遺志として 福田 勝之
  - 金一封 六丁目(竹浦) 亡父 達雄様のご遺志として 大田 勝仁

(令和三年六月一日から  
令和三年十二月二十七日まで)

栄えある受賞

(敬称略)

- ◎秋の叙勲 黄綬褒章 梅田酒造場 代表 梅田 修治
- ◎広島市社会福祉協議会会長表彰 功勞表彰 遊川美由貴 田村 精治 番野 千雪
- ◎安芸区公衆衛生推進協議会会長表彰 児玉 賢 北川 敏彬
- ◎船越地区社会福祉協議会会長表彰 善行表彰 (団体) 西古谷老人クラブ 友の会 (評議員十年) 田村 精治 番野 千雪 (福祉委員十年) 引地 若狭 寿子 小澤 早苗 荷場片山 品川 悦子

社協ボランティア講座

「コロナ禍でも、やってみよう」

令和三年度のボランティア講座を、十一月十日に行いました。各町内会主催のサロンの担い手である福祉委員・民生委員の方々に参加して頂きました。NPO法人ひろしまレクリエーション協会の方の指導により、「コロナ禍でもできるレクリエーション」「笑顔になれる楽しい体操」を学びました。今後のサロン活動に参考になればと思います。



編集後記

冬はバードウォッチングのベストシーズンです。船越町内の水辺でも、カモやサギが多く観られ、時には青い宝石と呼ばれるカワセミに遭遇することもあります。鳥たちの自然と戯れる姿には心を癒されるものです。コロナ禍であっても楽しむことができる新たな趣味を探してみるのも良いのではないのでしょうか。



船越地区の人口と世帯

(令和3年11月末現在)

男	5,204人
女	5,359人
計	10,563人
世帯数	5,237

赤い羽根 共同募金

目標額



911,000円を達成!